

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄市立北方小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 本校の最優先課題は学力向上である。基礎学力の向上、学習内容の定着に向け、全職員で共通理解、共通実践を行っており、今後も全職員で実践していくことが大事である。また、家庭学習を通して学校と家庭が連携し、児童の学力向上を目指していくことが必要である。 感染症対策で新たな業務が増えてきた。その反面、行事の見直し等も行われてきている。これを機に、時間外勤務時間の縮減を目指し、できることから一つずつ取り組んでいく。 個に応じた教育は、特別支援学級だけでなく普通学級でも大切な事である。きめ細やかな指導を目指すために、全職員で研修を重ね、教師としての指導力を高めていく。 本校は、地域の方の協力を得ながら様々な学習に取り組んできた。今後も地域の方との連携を大切にしながら「ふるさとを愛する児童の育成」を目指し、継続していく。
2 学校教育目標	かしこく やさしく たくましく ふるさとを愛する児童の育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い教育活動の推進 ・学び合い高め合う教師集団「チーム北方小」の育成 ・学力向上のための取組の推進 地域と共に伸び行く学校づくりの推進 ・北方町が大好きな子どもの育成 ・地域との連携 ・幼保小・小中連携

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達・先生・地域の方々に進んで挨拶をしている児童80%以上 ○声をかけられた時にきちんと受け答えができる児童80%以上 ○道徳科の授業実践率100% ○人権集会・平和集会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで元気のよい挨拶、きちんとした受け答えをしている児童を称賞したり全体の場や校内放送で紹介したりして、他の児童の意欲を高める。 ・年間計画にもとづいて、授業実践と授業参観(ふれあい道徳)を実施する。 ・人権教育の授業実践と人権集会・平和集会を実施する。 ・異学年交流や縦割り班活動の充実を図る(1年生を迎える交流・6年生とのお別れ交流・給食や掃除の手伝い・朝の活動)。 ・配慮を要する児童について情報共有し、全職員で見守り、支援する。 ・生活アンケート・いじめアンケートなどで把握した内容についての対応は、担任だけでなく、学年担任、級外の職員と連携しながら迅速にいていねいに対応していく。 							
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ●望ましい生活習慣の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康に食事は大切である」と考える児童99%以上 ○朝食を摂って登校する児童90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活調査を実施する。 ・食事の大切さ、「早寝、早起き、しっかり朝ごはん」の励行について、給食時間や委員会活動などを活用し、指導する。 ・食習慣や生活習慣について、掲示物やお便りを活用し、啓発する。 ・「ノーマメディアデー」を設定し、メディアに関わらないで過ごす良さを実感させる。 ・帰宅後から就寝までの時間をマネジメントする活動を取り入れ、自己の生活を振り返り、改善を図らせる。 							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○「自分自身の働き方が改善した」と答えた職員100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・県費職員の時間外勤務の平均時間が40時間以下を目標に業務改善に取り組む。 ・業務の効率化と退勤時間を意識した業務遂行を意識させる。 ・定時退勤日の設定及び徹底を図る。 							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○郷土愛を育む教育の推進	◎自分が生まれ育った地域に誇りを持ち、自分の目標に向けて努力しようとする気持ちを育む教育活動の推進	○地域に愛着を持っていると回答する児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事や総合的な学習の時間、生活科等において、地域の人たちと関わる機会を設け、自分たちが住む地域(人・もの・こと)の良さを味わえるような学習を展開する。 							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---